

平成21年度対アゼルバイジャン草の根・文化無償資金協力 「ピラスバル地区スポーツ施設空手及び柔道器材計画」供与式

2010年2月16日、ピラスバル地区において、平成21年度対アゼルバイジャン草の根・文化無償資金協力「ピラスバル地区スポーツ施設空手及び柔道器材計画」の供与式が開催され、アゼルバイジャン側からはピラスバル地区行政副局長、青年スポーツ局長の他、現役空手柔道選手、柔道クラブのユースメンバー等150名が出席、当館からは武藤参事官が出席しました。



草の根文化無償資金協力により器材供与を受けたピラスバル・スポーツ施設。式典の様子。

近年アゼルバイジャンにおいては柔道、空手などの日本武道が大変盛んで、特にピラスバル地区では多くの優秀な選手が輩出されています。特に、日本武道の精神による心身の鍛錬は、国内避難民や貧困層の青少年を非行や犯罪から遠のけ、健全な育成へ良い影響を与えることから重視され、広く推奨されています。

本案件は日本武道の振興支援と青少年の健全な育成支援の一環として、草の根文化無償支援のスキームの中で、ピラスバルのスポーツ施設に練習用の畳や道衣を供与したものです。

式典ではアゼルバイジャン関係者より、「日本武道の精神は、アゼルバイジャンの青少年の健全な育成に良い影響を与えている。今回の支援は、当国の将来を担う青少年の育成に直接資するとともに、日本への親近感や好感度もますます向上し、将来的な両国の友好関係の深化に大きく寄与することとなるだろう。日本国民と日本政府に心より感謝する。」との謝辞が述べられました。

また、式典後にはスポーツクラブの若手選手達による空手・柔道の取り組みが披露され、当日中に多くの国内主要TV局のニュース番組や新聞報道に取り上げられました。



新しい供与道衣に身を包んだチャンピオンの卵達。日本武道は青少年の健全な育成に大きく資している。